



「雪が戦とかまきくら作り」

「**日**十二月十三日北あぢたを」

「**日**北大の山小やの近くで」

「**会**私かみんなのところにいて」

「雪で遊ぶのたのしみだねー」

「**と**いって、雪の中に足をすぼつといれると、雪が

「きゅっ」

と音をとらした。ぬるぬるともした。でも、たなかぬけませんでした。まるで大きなかぼちゃか、かふちとぬきだすようにカもつたけど、なんとかぬけました。次にスリッパを、とて穴をぼつていきました。ザクザクザクザク、ぼつて、と中でおさんに「この穴も、と四角くしたいから、手で行ってー」

とたのんで、木は作、た雪だきまへいにして、そのへいに雪をのせてもう一回のせてまたきたのせてまたきたのせる。事をくりかえしていきました。雪合戦をはじめると、穴のあるまきくらを作、た人

かいたので、そこへうかっている人は、
「うわ、やからしんにゃ者が来たよ。」

「こちも来たー！」

と大変そうでした。

たんとん

まる

て雪のうさぐさのようになが

かかな雪で

した。

思ったこと

来

年

も

雪

遊び

びを

みんな

でし

たいです。

